

第117回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	現金過不足	当座預金	受取手形
売掛	金	従業員立替金	貸付金	仮払金
支払手形		買掛金	貸倒引当金	所得税預り金
未払	金	借入金	仮受金	引出金
売上		雑益	貸倒引当金戻入	償却債権取立益
仕入		貸倒引当金繰入	貸倒損失	給料
租税公課		水道光熱費	旅費交通費	雑損

- 決算に当たり、現金の手許有高を調べたところ、帳簿残高は ¥ 300,000 であるのに対して、実際有高は ¥ 280,000 であった。この現金過不足額のうち ¥ 8,000 は、従業員個人が負担すべき交通費を店の現金で肩代わりして支払った取引が未記帳であったためであることが判明したが、残りの現金不足額の原因は不明である。
- 商品 ¥ 150,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 120,000 については、仕入先を名宛人とする約束手形を振り出して支払い、残額は掛けとした。
- 前期に貸倒れとして処理した売掛金 ¥ 100,000 のうち、¥ 80,000 が回収され、当座預金の口座に振り込まれた。なお、貸倒引当金勘定の残高は ¥ 60,000 である。
- 給料日に、従業員に対する給料から所得税の源泉徴収額 ¥ 30,000 を差し引き、手取り金 ¥ 170,000 を当座預金の口座から振り替えて従業員に支払った。
- 水道光熱費 ¥ 60,000 と事業主の所得税 ¥ 240,000 を当座預金の口座から振り替えて支払った。なお、水道光熱費のうち ¥ 20,000 は、事業主個人の家計が負担すべき金額である。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	従業員立替金 雑損	8,000 12,000	現金	20,000
2	仕入	150,000	支払手形 買掛金	120,000 30,000
3	当座預金	80,000	償却債権取立益	80,000
4	給料	200,000	所得税預り金 当座預金	30,000 170,000
5	水道光熱費 引出金	40,000 260,000	当座預金	300,000